

請願・陳情等の審査

文教厚生常任委員会

年金2.5%削減の中止を求める意見書の提出を求める請願

請願者

全日本年金者組合 日高支部
執行委員長 谷口 幸男
執行委員 木坊子 健
紹介議員 山本 喜平

審査の結果

多くの高齢者の生活は、けつして裕福とは言えない。高齢者にとって、灯油などの生活必需品をはじめ、医療費や介護保険料などの負担増は、深刻な生活苦と将来不安を招いており、年金削減はこれに追い打ちをかけるものとなる。
本町では高齢化率が30%を越えており、年金の削減は高齢者の生活と地域経済にも大きく影響を及ぼすことになる。

以上のことから、この請願を採択する。

本議会においても採択とし、関係大臣に意見書を送付しました。

子ども・子育て新システム導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める陳情

引き続き、継続審査としました。

総務常任委員会

核兵器全面禁止、非核平和行動への協力を、日本政府に対して「核兵器全面禁止の決断と行動を求める」意見書の提出について

陳情者

2013年原水爆禁止和歌山県平和行進実行委員会

要旨

実行委員長 茂野 和廣
2015年NPT再検討委員会に向け、核兵器

年金2.5%削減の中止を求める意見書

本町では高齢化率も高く、高齢者の生活は、ここ数年にわたり、医療や介護保険料の上昇などにより厳しさを増しています。

昨年、国会は2.5%年金削減法を含む、国民生活に直結する重要法案を成立させました。

その中でもとりわけ年金2.5%削減の実施は、深刻な不況と生活苦の中にある高齢者の生活を圧迫し、悲惨な結果を招くことが危惧されます。

年金は自治体の高齢住民に直接給付される収入で、特に大都市部を離れた地域では、その削減は地域経済に大きな影響を及ぼすとともに、消費を冷え込ませ、不況を一層深刻にし、国の経済にも負の影響を与えることが懸念されます。

さらに、今準備されているデフレ下のマクロ経済スライドの実施など、限りない年金削減の流れに道を開くものになり、若者を中心に年金離れが一層進み、年金制度への信頼はさらに低下することが懸念されます。

このような事態を踏まえて、高齢者の生活と地域経済を守るためにも、次の事項の実現を強く求めます。

記

1. 「年金2.5%削減」を中止すること。

提出先 内閣総理大臣 厚生労働大臣

議会広報・議会放送に関するアンケート調査のお願い

この度、議会広報特別委員会では、より良い広報活動を実施するためアンケート調査を行います。

何かとご多用のところ誠に恐縮ですが、議会広報活動に対しての率直なご意見をお聞かせ下さい。

なお、記入していただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒で8月中にご返答いただきますよう、お願い申し上げます。

(※切手を貼らず、そのままポストにお入れ下さい。)



去る5月19日に町長選が行われ、新しく市木町長が誕生しました。健康に留意され、任期4年間、町の舵取りを今までの行政経験を十二分に発揮され、執行していただきたいと思います。

今年も蒸し暑い梅雨が7月8日にあけました。いよいよ夏本番となりますが、住民の皆様方には、外出するときは十分身体に気を付けて、熱中症などにならないようにと願うばかりです。

私たち議員の任期も残すところ1年を切ったわけですが、残された期間、町のために一生懸命、議員活動をしなければなりません。どうか最後までご理解をお願い申し上げます。

町民の皆さまのご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。
(龍田安廣)